

第3回 NBRP ラット技術講習会 in 東京

ラットにおける胚盤胞注入

キメラ作製技術の基礎

■日 時 2024年11月7日（木） 13:00～17:00

8日（金） 9:30～16:00

■場 所 東京大学医科学研究所 総合研究棟2階 先進動物ゲノム研究分野

■趣 旨

ES 細胞は胚盤胞へ注入すると発生に沿って生殖細胞を含む全身の細胞に分化できるキメラ形成能をもつ。ラットでは 2008 年ようやく ES 細胞が樹立されて以降、キメララットの作製を介して遺伝子改変ラット作製可能になったのみならず、マウスとラットの異種間キメラ作製、あるいは目的の臓器を個体内で作製する胚盤胞補完法に用いられてきた。しかしマウスに比べ、ラットにおける ES 細胞の扱いあるいは胚盤胞注入に係る胚操作技術はそれほど広く普及していない。そこで本技術講習会ではキメララット作製のために必要なラットの取り扱いに加え、ラット ES 細胞の培養や、ラット胚盤胞を用いた ES 細胞の注入操作に関する講演と実習を行う。

■コーディネーター

真下 知士 東京大学医科学研究所 先進動物ゲノム研究分野 教授

■プログラム

◆ 7日(木) 13:00~16:00

- ・講義1. 実験動物学概論
- ・講義2. ラット ES 細胞研究
- ・実習1. ラットの基本的な取り扱い、マウスピースを使った胚操作

(18時～: 情報交換会)

◆ 8日(金) 9:30~16:00

- ・実習2. 胚盤胞の準備
- (昼 食)
- ・実習3. ラット ES 細胞の扱い
- ・実習4. 胚盤胞注入によるキメラ胚作製
- ・総合討論

■講 師

小林 俊寛 東京大学医科学研究所 再生発生学分野 特任准教授

吉見 一人 東京大学医科学研究所 先進動物ゲノム研究分野 准教授

石田 紗恵子 東京大学医科学研究所 先進動物ゲノム研究分野 助教

■参加資格

ラットを用いた研究を実施または予定している若手研究者・技術者（マウスではキ

メラを作っているがラットではやったことがない、あるいはラットを扱っているが ES 細胞培養や胚操作をやったことがない、という方も大歓迎です！)

■ 定員

5 名程度。

■ 参加費

無料、交通費・宿泊費は自費。

■ 申込方法

google フォームにてお申込みください。

<https://forms.gle/F5UwHZGQvWX9fvjZ8> → 申し込みは締め切りしました。

■ 申込締切 9月27日（金）

ただし、定員になり次第締め切り。

■ 問 合 先 :

東京大学医科学研究所 実験動物研究施設 先進動物ゲノム研究分野

e-mail : nbrp-rat@ims.u-tokyo.ac.jp

TEL : 03-6409-2489

FAX : 03-6409-2226